

安全データシート

作成日2014年10月10日
改訂日年月日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 いつもの抗菌・防臭剤
製品コード
会社名 株式会社サンワ
住所 〒135-0046 東京都江東区牡丹2丁目12番地4号
電話番号 03-3642-1255
FAX番号 03-3642-5766
メールアドレス
推奨用途及び使用上の制限 洗濯時用繊維製品抗菌剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性 分類対象外、区分外または分類できない
健康に対する有害性 急性毒性（経口） 区分外
急性毒性（経皮） 区分外
急性毒性（吸入：蒸気） 分類できない
急性毒性（吸入：ミスト） 分類できない
皮膚腐食性／刺激性 区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2B
呼吸器感受性 分類できない
皮膚感受性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発ガン性 分類できない
生殖毒性 区分外
特定標的臓器・全身毒性（単回曝露） 分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復曝露） 分類できない
吸引性呼吸器有害性 分類できない
環境に対する有害性 水生環境有害性（急性） 区分外
水生環境有害性（慢性） 分類できない
オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素
絵表示又はシンボル なし
注意喚起語 警告
危険有害性情報 眼への刺激性
注意書き 【安全対策】 取り扱った後、手を洗うこと。
【救急処置】 皮膚に付いた場合 石けんで洗うこと。
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

国・地域情報 情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
一般名 洗浄剤

化学名又は一般名	化学式	濃度(%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
抗菌剤	非公開	非公開	あり	非公開
可溶化剤	非公開	非公開	あり	非公開
界面活性剤	非公開	非公開	あり	非公開
安定化剤	非公開	非公開	あり	非公開
抑泡剤	非公開	非公開	あり	非公開
水	H2O	非公開	対象外	7732-18-5

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 石けんを付けて水で洗うこと。
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性及び遅発性症状 データなし
最も重要な兆候及び症状 データなし
応急処置をする者の保護 データなし
医師に対する特別注意事項 データなし

5. 火災時の措置

消火剤 粉末、二酸化炭素、泡、散水又は噴霧水。
使ってはならない消火剤 特になし
火災時の特有の危険有害性 製品自体は引火しないが、製品中の水分が蒸発すると燃焼する。

<p>特有の消火方法</p>	<p>燃焼した場合、有害なガスが発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器と化学用保護衣を着用すること。</p>
<p>消火を行う者の保護</p>	
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置 環境に対する注意事項 回収、中和</p> <p>封じ込め及び浄化の方法 ・機材二次災害の防止策</p>	<p>関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 乾燥土、砂等の不活性材料で吸収する。あるいはポリ製空容器に回収する。 吸収や回収したものは、後で廃棄処理する。 漏れを止める。容器を回収する。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p> <p>技術的対策 局所排気装置・全体換気 安全取扱い注意事項</p> <p>接触回避 保管</p> <p>技術的対策 混触危険物 保管条件 容器包装材料</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。 容器は丁寧に取扱い、使用後は密栓する。 眼に入れないこと。 ミスト、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は水で洗うこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>取扱う場所の近くに、洗眼等の設備を設置する。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 容器は直射日光を避けて、涼しい場所で保管すること。 データなし</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置</p> <p>管理濃度 許容濃度（ばく露限界 値、生物学的ばく露指標） 設備対策 保護具</p> <p>手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策</p>	<p>設定されていない。 設定されていない。 この製品を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器を設備すること。 適切な保護手袋を着用することが望ましい。 適切な眼の保護具を着用することが望ましい。 全身用の保護衣を着用することが望ましい。 取扱い後は水で洗うこと。</p>
<p>9. 物理的及び化学的性質</p> <p>形状 外観 臭い pH 融点／凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点 爆発範囲 蒸気圧 蒸気密度（空気＝1） 比重（密度） 溶解性 オクタール／水分係数 自然発火温度 分解温度 臭いのしきい（閾）値 蒸発速度（酢酸ブチル＝1） 燃焼性（固体、ガス） 粘度</p>	<p>液体 無色～淡褐色半透明 特異臭 10.6 データなし データなし 認められない データなし データなし データなし 0.996(20℃) 水に溶解する データなし データなし データなし データなし データなし データなし 該当しない データなし</p>
<p>10. 安定性及び反応性</p> <p>安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の取扱い温度、圧力で安定。 特になし 特になし データなし 万一燃焼した場合、一酸化炭素等の有害なガスが発生するおそれがある。</p>
<p>11. 有害性情報</p> <p>急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 皮膚腐食性／刺激性</p>	<p>各成分の毒性値の合計から得られた推定毒性値が2,000より大きい「区分外」とした。 同上</p>

眼に対する
重篤な損傷／刺激性
生殖毒性

区分1、区分2A、区分2Bの成分が含まれており、区分2の基準を満たすため「区分2B」とした。（含有量が区分1<区分2A<区分2Bのため、区分2Bとした。）
区分2の成分が含まれているが、基準未滿のため「区分外」とした。

急性毒性（吸入：蒸気、ミスト）、呼吸器感作性、皮膚感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、特定標的臓器・全身毒
吸引性呼吸器有害性等については、データなしまたはデータ不足のため「分類できない」とした。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性（急性） 区分2の成分が含まれているが、基準未滿のため「区分外」とした。
水生環境有害性（慢性） データ不足
残留性・分解性 データなし
生体蓄積性 データなし
土壌中の移動性 データなし
オゾン層への有害性 データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄は関連法規ならびに地方自治体の基準及び地域の条例、規則に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこへ委託処理する。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託処理する事。
空容器等を廃棄する場合は、水洗いなど内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制
海上規制情報 I M Oの規定に従う。
航空規制情報 I C A O / I A T Aの規定に従う。
国連分類及び国連番号 分類基準に該当しない。
国内規制
陸上規制情報 消防法、毒劇物法、労働安全衛生法に該当する場合は、該当規定に従う。
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 運搬に際しては輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にする。
『7. 取扱い及び保管上の注意』に従うこと。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行なう。

15. 適用法令

労働安全衛生法 該当しない
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法） 該当しない
毒物及び劇物取締法 該当しない
消防法 該当しない
火薬類取締法 該当しない
高圧ガス保安法 該当しない
船舶安全法 該当しない
航空法 該当しない
その他の規制
内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）：含有しない
学校環境衛生基準検査物質：含有しない
シックハウス・シックスクール 関連室内空気汚染物質：厚生労働省指針値該当14物質成分は含有しない

16. その他の情報

引用及び参考文献 J I S Z 7253 化学物質安全データシート
J I S Z 7252 G H S分類標準規格
製品安全データシートの作成指針（改訂2版 （社）日本化学工業協会）
化学物質の安全データシート（安全衛生情報センター発行）
G H S混合物分類判定システム（G H S J I S版2010-1 経済産業省）
原料メーカー発行の安全データシート

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づき作成しており、新規知見により改訂されることがあります。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合は、用途や用法に適した安全性の評価と対策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報の提供であって、安全性を保証するものではありません。